

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 聖路加国際病院整形外科 岡田 恭彰

【研究責任者】

聖路加国際病院 整形外科 岡田恭彰

とうこつえんいたんこつせつ
当院で橈骨遠位端骨折に対してプレートを用いた整復固定術
を行った方を対象とした、術野の視野確保のための駆血帯の
使用の有無が治療成績に影響するか、に関する研究

1.研究の対象

2016年1月～2016年12月に当院で橈骨遠位端骨折に対して掌側ロックングプレート固定術を受けられた方

2.研究の目的・方法

本研究の目的は橈骨遠位端骨折に対する掌側ロックングプレート固定術を駆血による視野の確保を行わずに手術が行えるかを検討するとともに、駆血をした群としない群での術後成績を比較することを目的としています。なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2018年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

《情報》 カルテ番号、生年月日、手術記録、単純X線、リハビリ記録等